

脳神経外科学

責任者：小笠原 邦昭 教授

教育成果（アウトカム）：

中枢神経系の正常な解剖・生理を理解し、そこから逸脱した病態（脳血管障害、腫瘍、外傷、先天性疾患、感染性疾患、機能的疾患）を把握することで、各疾患の診断、治療が判断できる医学的思考を獲得する。そのために必要な神経診察、血液学的検査結果の解釈、神経放射線学的検査の読影などを習得することで、治療法選択の論理的根拠が提示できる。

行動目標（SBOs）：

1. これまでの学年で習得してある正常な中枢神経系の解剖及び生理を再度整理する。
2. 上記に基づいた正常な神経学的所見を理解する。
3. 正常な神経放射線学的所見の読影を再確認する。
(上記 1、2、3 はこれまでの学年で習得されてあるはずであるが、不十分な場合は実習期間前に復習しておく)
- * 4. 中枢神経系疾患における神経症状及び神経所見・画像所見を指摘できる。
- * 5. 4 を元に鑑別疾患を挙げる。
- * 6. 鑑別に必要な検査を挙げる。
- * 7. 疾患に対する治療法を挙げる。
- * 8. 外科的治療の必要性を理解し脳神経外科手術を体験する。
9. 手術所見を元に、これまで学んだ解剖学的知識を確固たる物とする。
10. 病態生理に則った術後管理が理解できる。
11. 上記を元に、最終日の口頭試問で論理的な説明ができる。

特に留意すべき注意事項：

1. 全体をとおして
 - (1) 患者には「教えていただく」という謙虚な気持ちを忘れないこと。
 - (2) 実習期間中は指導医の元に行動する。
 - (3) 患者に不快ととられる可能性のある言動や服装は厳に慎む。
 - (4) 患者への病名告知や病状説明は行わない。
 - (5) 守秘義務を厳守する。
 - (6) 患者の前で病名を日本語で言わない（告知していないことがあります）。
 - (7) 手術室や病棟では清潔区域を汚染しないように気をつける。
 - (8) 遅刻・欠席の際には指導医に連絡する。
 - (9) 指導医の所在が不明の時は、医局秘書あるいは吉田講師から指導医の院内携帯番号にかけてもらう。

- * (10) 実習前には、WebClass の「岩手医大本院手術場ラビング法 DVD」で、手洗いの方法を再度確認しておくこと。
- (11) 患者資料の無断での持ち出しやコピーは行わない。
- (12) 各評価シートと出席表及びレポートは最終日に指導医へ提出する。
- (13) 万が一レポートを紛失した場合でも、拾った人物が対象患者を特定できないように、レポートには患者氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、IDなどの個人情報記入しないこと。
- (14) 患者情報が入った電子カルテ印刷物の散乱が問題となったため、電子カルテのプリントアウトは禁止とする。
- * (15) 実習では解剖学の知識が必要となるため「解剖学図譜」を持参すること。
(書籍の指定は特になし。ただし「カラー図解 人体の正常構造と機能 日本医事新報社」では図譜が不十分である。これの使用は妨げないが、それ以外の「解剖学図譜」も持参すること)
- * (16) 各班、最低でも1冊は生理学の成書を持参すること。

2. 盛岡赤十字病院での実習

- (1) 希望があった場合に盛岡赤十字病院での実習が可能である(1名)。希望者は実習初日のオリエンテーションの際に申し出ること。
- (2) 実習期間は1週目の水曜日の「術前検討会」以降より盛岡赤十字病院に赴き2週目の金曜日の午前11時まで。それ以降は大学での実習スケジュールに合流。
- (3) 移動の際にはタクシーチケットの交付を受ける(自家用車での移動は禁止)

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

推薦図書：

- ・ニュースタンダード脳神経外科学 三輪書店
編集：生塩之敬、種子田護、山田和雄
- ・標準脳神経外科学 医学書院
編集：佐々木 富男／峯浦 一喜／新井 一／富永 悌二

*注：「病気がみえる vol.7 脳・神経」及び「year note」は過去の国家試験問題を参考に作られている部分が多く、上記推薦図書では記載の少ない国家試験必須の項目についても記載があり、有用性はある。しかしながら、まとめすぎて病態の理屈や生理・解剖などが割愛され、重要な項目が説明なく文節だけの記載にとどまるなど、「理解」には不十分である。これのみを用いた学習では、病態生理・解剖等の基礎医学的根拠が欠落した、気迫で忘れやすい知識しか身に付かない危険が大いにある。よって「病気がみえる」「year note」の使用は妨げないが、これらの本は、どの辺を勉強しなければならないのかの課題を見つける、あるいは理解した事柄の復習に使う、

など「領域の目次」としての使用であることを常に心がけること。いわゆる「傍用」図書として使用すること。生理学及び解剖学の成書と呼ばれる書物を併用し、背景となっている生理・病理・解剖を調べながら確固たる知識と応用力を身につけること。

なお、「チャートシリーズ」や「ステップ」は内容があまりにもなさ過ぎ、医学生としての知識の土台構築のみならず、国家試験対策としても不十分なため、使用不可である。

第5学年臨床実習スケジュール [脳神経外科学]

[第1週]

指導医師名：①小笠原邦昭教授 ②和田司特任准教授 ③久保慶高准教授 ④吉田研二講師 ⑤小林正和助教 ⑥菅原淳助教 ⑦西川泰正助教
 ⑧幸治孝裕助教 ⑨松浦秀樹助教 ⑩村上寿孝助教 ⑪藤原俊朗助教 ⑫別府高明教授(高気圧環境医学) ⑬佐藤雄一助教 ⑭千田光平助教
 ⑮榎村博史非常勤講師 ⑯三浦一之非常勤講師 ⑰木戸口順非常勤講師 ⑱久保直彦非常勤講師 ⑲鈴木彰非常勤講師 ⑳井上敬非常勤講師
 ㉑関博文非常勤講師 ㉒太田原康成非常勤講師 ㉓紺野広非常勤講師 ㉔柴内一夫非常勤講師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション、実習前試験 医師国家試験問題解説 [場 所] [医局、東6カンファランス室] [指導医] ④	手術・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
火	カンファランス・抄読会・術後検 討会 [場 所] [東6カンファランス室] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	総回診・外来研修、 医師国家試験問題解説 [病棟、外来・東6カンファラン ス室] ①④⑦	手術・回診・検査 [手術室、病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室、病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
水	術前検討会 [場 所] [東6カンファランス室] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
木	手術・回診・検査 [場 所] [手術室・病棟・外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
金	手術・回診・検査 [場 所] [手術室・病棟] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭

[第2週]

指導医師名：①小笠原邦昭教授 ②和田司特任准教授 ③久保慶高准教授 ④吉田研二講師 ⑤小林正和助教 ⑥菅原淳助教 ⑦西川泰正助教
 ⑧幸治孝裕助教 ⑨松浦秀樹助教 ⑩村上寿孝助教 ⑪藤原俊朗助教 ⑫別府高明教授（高気圧環境医学） ⑬佐藤雄一助教 ⑭千田光平助教
 ⑮樫村博史非常勤講師 ⑯三浦一之非常勤講師 ⑰木戸口順非常勤講師 ⑱久保直彦非常勤講師 ⑲鈴木彰非常勤講師 ⑳井上敬非常勤講師
 ㉑関博文非常勤講師 ㉒太田原康成非常勤講師 ㉓紺野広非常勤講師 ㉔柴内一夫非常勤講師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	手術・検査 [場 所] [手術室・病棟] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
火	カンファランス・抄読会 [場 所] [病棟] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	総回診・外来研修 [病棟・外来] ①⑧	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
水	術前検討会 [場 所] [東 6 カンファランス室] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
木	手術・回診・検査 [場 所] [手術室・病棟・外来] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭	手術・回診・検査 [手術室・病棟・外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
金	口頭試問 [場 所] [東 6 カンファランス室] [指導医] ④	口頭試問 [東 6 カンファランス室] ④	口頭試問 [東 6 カンファランス室] ④	臨床講義 [東 6 カンファランス室] 15 時～⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔ うち 1 名

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
実習用機械	骨髄骨模型型・脳模型	各1台	頭蓋・脳構造の立体的把握と理解
実習用機械	脳神経診察セット	1セット	神経学的診察の実際を修得する
実習用機械	SPECT	1台	脳循環・代謝の診断と意義に関する講義
実習用機械	ABR・SEP・EEG	各1台	脳局所機能と脳神経機能の診断講義
実習用機械	脳圧測定装置	1台	脳圧の経時的測定による診断に関する
実習用機械	脳血管撮影装置	1台	見学・実施による方法・診断の修得
実習用機械	CT・MRI	各1台	画像診断の基本的・応用
実習用機械	脳神経外科手術顕微鏡	1台	脳神経外科手術の見学
実習用機械	センテックデジタルモニターシステム (SDMS)	1台	脳循環の生理学実習
実習用機械	レクセル定位脳手術装置一式	1台	定例手術研究見学実習
実習用機械	セクション蛍光顕微鏡システム一式	1台	データ解析
視聴覚用機械	PC および PC プロジェクター	各1台	講義
視聴覚用機械	ノート型 PC (SONY VAIO VGN-T90FSY1)	1台	臨床実習における講義および症例検討会
視聴覚用機械	データプロジェクター	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	イメージスキャナー一式 (ES-100000G)	1台	臨床実習症例スライド作成用
視聴覚用機械	パソコン一式 (カスタムメイド PC-MY30YMZEF)	1台	臨床実習症例提示用
視聴覚用機械	パソコン (Mac pro)	1台	〃
視聴覚用機械	モノクロ複合機 (image iR3245F)	1台	〃
視聴覚用機械	パソコン一式 (AMD Athlon64x2)	1台	データ解析および症例検討、システム評価
視聴覚用機械	タブレット WACOM (Cintiq21UX)	1台	データ解析および症例検討
視聴覚用機械	パソコン一式 (Core2DuoE6600 他)	2台	〃
視聴覚用機械	ノートパソコン一式 (CF-Y5LW8AXS)	1台	リサーチカンファランスおよび症例検討・解析
視聴覚用機械	デジタル複写機 (imagio neo353-75D)	1台	臨床実習における資料作成
視聴覚用機械	パソコン本体 (DTTE6400RAM)	1台	講義・症例検討
視聴覚用機械	カスタムメイドパソコン一式 (IntelCore2DuoE6420 他)	1台	〃
視聴覚用機械	ニューダスタウトドライブ(3-5031-11AG-SDN)	1台	臨床実習
視聴覚用機械	顕微鏡用汎用デジタルカメラアダプター付総合セット (NYA600-640M)	1式	〃
視聴覚用機械	超純水製造装置 (Direct QUV)	1台	〃
視聴覚用機械	脳動脈血流モニターシステムコンパニオンⅢ (EME-ZC000303)	1式	〃
視聴覚用機械	レーザープリンター (LBP5300)	1台	〃

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 受講態度：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II、レポート）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題の筆記試験及び口頭試問：25 点